



五中だより

第七号

山形市立第五中学校 平成三十年十月二十六日発行

「二十年前の北方領土」

先日、三年の男子生徒から「校長先生。北方領土ってどんなところですか？」と声をかけられました。北方領土問題に興味を持ってきて大変うれしいです。そこで、今回の校長講話は二十年前に行った北方領土の話をお願いします。

まず、私が北方領土に行くことになった経緯を話します。今から二十年前の平成十一年、私が県教育委員会の義務教育課で指導主事をしていた時、北方領土問題対策協会が中学校における北方領土問題の理解と啓発を進めたいと、各都道府県から中学校社会科教員一名を北方領土に派遣する事業を始めました。山形県の担当だった私は県内の中学校社会科教員に希望をとりましたが、新人戦と日程が重なるため希望者はゼロ。そこで、責任をとる形で私が北方領土に行くことになったのです。

私が行った二十年前も、現在も、日本人が自由に行き来することはできません。「ビザなし渡航」と言っても、パスポートはいりませんが、特別に日本とロシアの政府から許可された人しか行くことはできません。

交通手段は船（三三四トンのコシラルホワイト号という小さな客船）で、北海道の北東部の根室港から夕方出発し、北方領土の国後島の中心の町ユジノ・クリリスク（日本名・古釜布）の沖に翌朝の夜明け前に到着しました。

夜が明ける寸前、船の甲板で日の出を見ましたが、空気がきれいだからなのか、緯度が高いからなのかわかりませんが、今まで見たこともない、まるで宇宙にいるかのような鮮やかな濃紺の空にオレンジ色に輝く夜明けの光景を目にしました。

夜が明けてくると、数百メートル先に、棧橋のある低い土地から小高い丘のところまで、家や工場が続くユジノ・クリリスクの町並みが見えてきました。町は大きくなく、日本の小さな漁村と住宅地と工場を合わせたような感じでした。

九時頃、いよいよ上陸です。港は水深が浅いため、港の沖にコシラルホワイト号は停泊しています。棧橋までの移動は舢舨という鉄製の巨大な筏みたいなもので移動します。舢舨に乗り移る時は板が渡してあるのですが、大きく揺れて危険です。舢舨に無事渡ってホッとするのもつかの間、自動小銃を持った四人のロシア国境警備隊に囲まれ、一人一人顔写真と書類のチェックを受けます。かなり緊張します。

舢舨が棧橋に近づくと、手作りの歓迎の垂れ幕を持った大勢の人が出迎えてくれました。早速、車に乗り込み町の中心部まで移動します。車は日本の中古ワゴン車ですが、かなり古いものです。また、道路は全く舗装されてないため、水たまりの跡の風景は、家が少いたる所程度で、低速で運転してもかなり揺れます。中心部までの風景は、家が少いたる所程度で、草原以外は荒涼とした感じでした。中心部道路には側溝はなく、すぐに草原が広がります。中心部でさえ、建物を出るとすぐ

ぐに土の道という感じで、まるで西部劇に出てくる町のようなです。

小学校と中学校を合わせた初等学校を訪問しました。古い建物ですが、外壁は明るい色のペンキできれいに塗られていました。中は古いままですが、窓枠だけは白いペンキで塗られています。小学校の一年級は三十人程度で、日本と同じように、二重窓になっていて、ノートをとるような授業をしていました。日本と違うところ、鉛筆は使わず、青と赤のボールペンだけでノートをとっていることです。

また、机の脇の物をさげるフックには、根室市にあるスーパー「サティ」（今はイオン）に変わりました。当時、サティは米沢市にもありました。のレジ袋が数多くぶら下がっていました。国後島の漁師の方は、時々、根室市に水産物を運び、その帰りに日本に帰るスーパーで必要な物を買って帰るという交流があることがレジ袋からわかります。

町の中心部にある店に行きました。小さな店が三軒ありましたが、ほとんどが食料品中心の店です。パンは自宅で作るのか、かなりたくさん山積みされていて、生鮮食料品はほとんど見かけませんでした。日本から行った交流団のメンバーが買い物をするために使えるロシア通貨は二〇〇〇ルーブルまでです。私たちがお土産として店の商品を買おうとすると、店に地元の人を買おうとなくなってしまうからです。（一九九九年頃はルーブル一円四角五円程度、今は一・八円程度）

午後からはホームステイです。一家庭に二人程度の交流団のメンバーが訪問し、約三時間、地元家族と交流をします。私が訪問したのは、マツベラさんという新開記者のお宅で、旦那さんと二人のお子さん（中学生の姉、小学生の弟）が出迎えてくれました。廊下には主食のジャガイモがたくさん置いてあり、壁の二階建ての家で住ったのは、ロシア語が全くわからないことでした。日本語をロシア語に翻訳するガイドブックをお互いが指さして会話（？）するしか方法はありません。でも、三時間、楽しく会話（？）することができました。また、ボルシチをはじめとする手作りの料理を振る舞ってくれましたが、その中でもおいしかったのは、その日の朝、旦那さんと息子が近くの川で釣上げたシヤケをさばいて作ってくれたイクラ（ロシアがイクラ発祥の国だと知りませんでした）をパンにのせて食べるというシンブルな料理です。

このマツベラさんの家から見た光景が忘れられません。マツベラさんの家は高台にあり、眼下に広がる手つかずの大平原、その中を「先ほどのシヤケ」を釣ったという蛇行した川が流れ、遠くには平原を囲むように山並みが並ぶ。その全てが夕日に照らされて黄金色に輝くとても美しい光景です。

（中略）

最後に、マツベラさんの一言を紹介します。「領土問題は大変難しい。この島で生まれ育った日本人は、終戦の時、故郷を追われ、今は日本で生活している。もし、この島が日本になつたら、この島で生まれ育ったこの子供たちは、同じように故郷を追われることになる。」私が北方領土に実際に行ってきたからこそ、強く印象に残っている言葉です。

今後の北方領土問題は、双方が不幸にならない、納得した解決策を、時間をかけて考えていかなければならない、と思っています。すぐには解決できない大変難しい問題ですが、忘れてはいけない問題だと思います。



（校長 阿部 善和）

平成三十年度山形市中学校新人体育大会の主な結果

平成三十年九月二十九日(土)三十日(日)

優《団体》
優勝 野球 (南ブロック大会出場)

舟山侑輝二年 堀内倫太郎二年 町田望天二年 木川運太郎二年
市村健介二年 東海林光太二年 進藤悠翔二年 會田一樹二年
若狭康希一年 深瀬広太一年 八重樫鉄馬一年 池田裕音一年
増川潤一年 三河凜太郎一年 阿部寛汰一年 進藤健翔一年
富樫颯太一年 中村天之一年 工藤育実一年 鈴木善太一年

優勝 水泳女子総合

第二位 男子バドミントン (県大会出場)

山崎陽真二年 相馬悠人二年 信夫竜之介二年 倉田知悟二年
伊藤晃成二年 高梨陽太二年 木村鈴二一年 大友諒一年

第二位 ソフトボール

鈴木菜々美二年 河内澤那二年 木川伊鞠二年 佐藤京華二年
加藤めい二年 芳賀百華二年 土屋叶一年 矢作光佳李一年

第三位 剣道男子 (南ブロック大会出場)

平川碧二年 渡邊 優二年 山岸鷹海二年 小野颯大二年
伊藤羽琉二年

第三位 水泳男子総合

優《個人》
第一位 山崎陽真二年 相馬悠人二年 バドミントン男子ダブルス(県大会)
出沼七海二年 卓球女子(県大会)
長岡愛海一年 水泳一年女子一〇〇m背泳ぎ(大会新記録)
吉田葵唯二年 水泳二年女子二〇〇m・一〇〇m平泳ぎ
大沼美空二年 水泳二年女子一〇〇mバタフライ
國井椎菜二年 水泳二年女子一〇〇mバタフライ
富樫晴乃一年 水泳一年女子五〇mバタフライ
長岡愛海一年 國井椎菜二年 吉田葵唯一年 富樫晴乃一年
(水泳女子四〇〇mフリーリレー)
長岡愛海一年 吉田葵唯一年 富樫晴乃一年 國井椎菜二年
(水泳女子四〇〇mメドレーリレー)

第二位

鈴木結羽二年 陸上女子二年一〇〇m
板垣諒大二年 水泳共通男子四〇〇m自由形
國井椎菜二年 水泳二年女子二〇〇m個人メドレー

第三位

田中遙真一年 水泳一年男子五〇mバタフライ
佐藤玲歩一年 水泳一年男子一〇〇mバタフライ
武田盛男一年 水泳一年男子五〇m・一〇〇m平泳ぎ
富樫晴乃一年 水泳一年女子一〇〇m平泳ぎ
鈴木結羽二年 陸上女子二年二〇〇m
柴田悠貴一年 水泳二年男子二〇〇m背泳ぎ
田中遙真一年 水泳一年男子二〇〇m個人メドレー
佐藤玲歩一年 水泳一年男子五〇m背泳ぎ
多勢健太郎一年 水泳一年男子五〇m平泳ぎ
大沼美空二年 水泳二年女子一〇〇mバタフライ

第四位

齋藤和希二年 水泳二年男子一〇〇mバタフライ
永山奏楽二年 水泳二年男子一〇〇m・一〇〇m平泳ぎ
板垣諒大二年 水泳二年男子二〇〇m自由形
吉岡晃佑二年 水泳共通男子四〇〇m自由形
柴田悠貴二年 水泳二年男子一〇〇m背泳ぎ
川俣知央二年 水泳二年女子一〇〇m・一〇〇m自由形
柴田悠貴一年 永山奏楽一年 田中遙真一年 武田盛男一年
(水泳男子四〇〇mメドレーリレー)

第五位

田中 連一年 陸上男子一年一五〇〇m
小松 弘一年 水泳一年男子五〇m自由形
小野田理子一年 水泳一年女子五〇m平泳ぎ

第六位

佐藤和一年 陸上男子二年二〇〇m
齋藤和希二年 水泳二年男子二〇〇m個人メドレー
新井田健太二年 水泳二年男子一〇〇mバタフライ
多勢健太郎一年 水泳一年男子二〇〇m個人メドレー
小松 弘一年 水泳一年男子一〇〇m自由形
渡邊悠也一年 水泳共通男子四〇〇m自由形
柴田悠貴二年 板垣諒大一年 佐藤玲歩一年 武田盛男一年
(水泳男子四〇〇mフリーリレー)

ベスト八

大友 諒一年 バドミントン男子シングルス(県大会)
山崎明優二年 バドミントン女子シングルス(県大会)
和田 灯二年 バドミントン女子シングルス(県大会)
石山美佳二年 高橋瑠奈一年 バドミントン女子ダブルス(県大会)

ベスト十六

小野颯大二年 剣道男子個人(南ブロック大会出場)
山岸鷹海二年 剣道男子個人(南ブロック大会出場)
渡邊 優一年 剣道男子個人(南ブロック大会出場)



先輩と競いながら、全力で棒をつなぐ



山形五中伝統の校内駅伝大会

10月12日 (金)



勢いよく、一斉にスタート!



待っている仲間のために全力で走る!



みんなで繋いだたすきを受け取り最後まで走りきる!

表彰式



校内駅伝結果

	1年	2年	3年
1 位	4組	4組	1組
2 位	6組	3組	6組
3 位	5組	2組	4組



駅伝の後は、馬見ヶ崎河原で山形名物「芋煮会」!



芋煮完成! いただきます!

うどんや果物もおいしかった!



**グループのみんなで力をあわせて
かまどづくりや調理**



山形五中学生徒会による「五中学区AEDマップ」作成

夏休み明けの全校朝会で、校長先生から夏休み中の先生方の救急蘇生・AED研修会についてお話をいただき、五中学区の「AED」は「どこに」「どのくらい」あるのだろうかというきっかけから、全校生徒が調べたものです。

万が一、「AED」が必要になった時、自分の家の近くでは、どこに行けば「AED」が設置してあるのかを知っていることで、命を救うことができる可能性が高まります。

中学校では、二年生の保健体育の時間に「心肺蘇生法」について学ぶ機会があります。が、実際に「AED」を使ったり、心肺蘇生の実習を行うことはなかなかできません。保護者の方、地域の方はいかがでしょうか？今回の「AEDマップ」作成をきっかけに、身近な人の命を救うことにつながる、心肺蘇生やAEDの実習を考えていきたいと思っています。「AEDマップ」作成にご協力いただいた施設・企業・病院等は五十四箇所にもなりまして、大変ありがとうございます。もしも、まだ「AEDマップ」に記載されておらず、マップに記載可能な場所がありましたら、山形五中（六二一〇五五九）にご連絡ください。「AEDマップ」は、別印刷しましたので、ご家庭等でご活用いただければ幸いです。

「五中学生の活躍」

第四五回山形県中学校新人体育大会

第三位 男子バドミントン部

第三七回山形県中学校新人体育大会南ブロック大会

第三位 野球部

第七一回山形県中学校陸上選手権大会

第五位 鈴木結羽 一年 共通女子二〇〇m

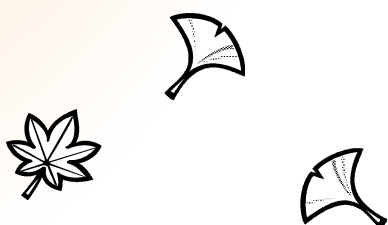
第五位 鈴木結羽 二年 女子二年二〇〇m

山形市中学校読書感想文コンクール

優良 伊藤羽那 一年 「たくされた願い」

入賞 和田光起 三年 「一人個人」

入賞 工藤淳之助 一年 「あきらめないを手助けしたい」



これからの予定

十一月

一日（木） 創立記念式

五日（月） 演劇鑑賞教室（午後）

八日（木） 生徒会役員選挙

九日（金） 三年進路研修会

十二日（月） 校内授業研究会

十四日（水） 生徒活動発表会
（給食、理科、英語）

十六日（金） 前期生徒会総括会
生徒会任命式

二十日（火） 二学期期末テスト

二十一日（水） 生徒活動発表会
（生徒会、メディア、保健）

二十三日（金） 三年親子行事（午前）
二年親子行事（午前）

